2026年9月期通期

決算説明資料

株式会社ＦＣＥ
2026年11月19日
東証スタンダード
証券コード：9564

会社概要

会社名	株式会社ＦＣＥ	証券コード：9564
設立	2017年4月21日 グループ創業2004年2月19日	
従業員数	294名	※ 2026年9月30日現在

Purpose

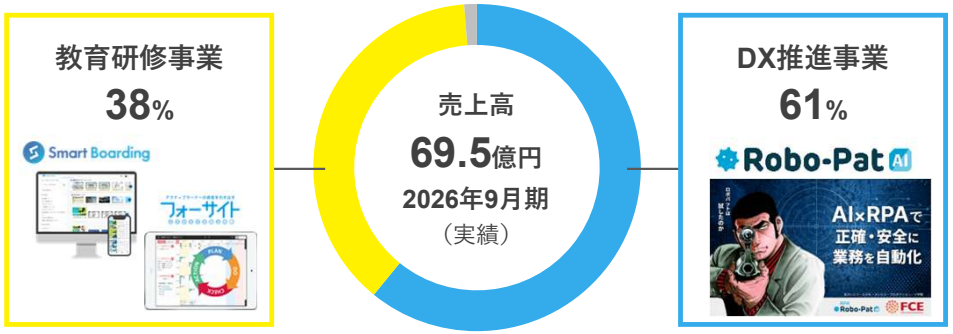
チャレンジあふれる未来をつくる

Mission

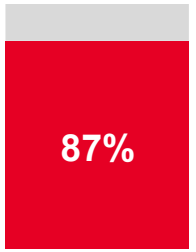
主体性 × 生産性

人的資本の最大化に貢献する

主要な事業（事業セグメント）

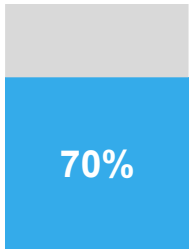


売上構成（2026年9月期実績 売上高69.5億円の割合）



ストック比率

（継続的に利益を得るビジネス）



SaaS型ビジネス

（ロボパットAI・Smart Boarding・AI OMNI AGENT）

© 2026 FCE Inc.

Agenda

01 2026年9月期通期業績と2027年9月期業績予想

02 今後の事業方針

03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業

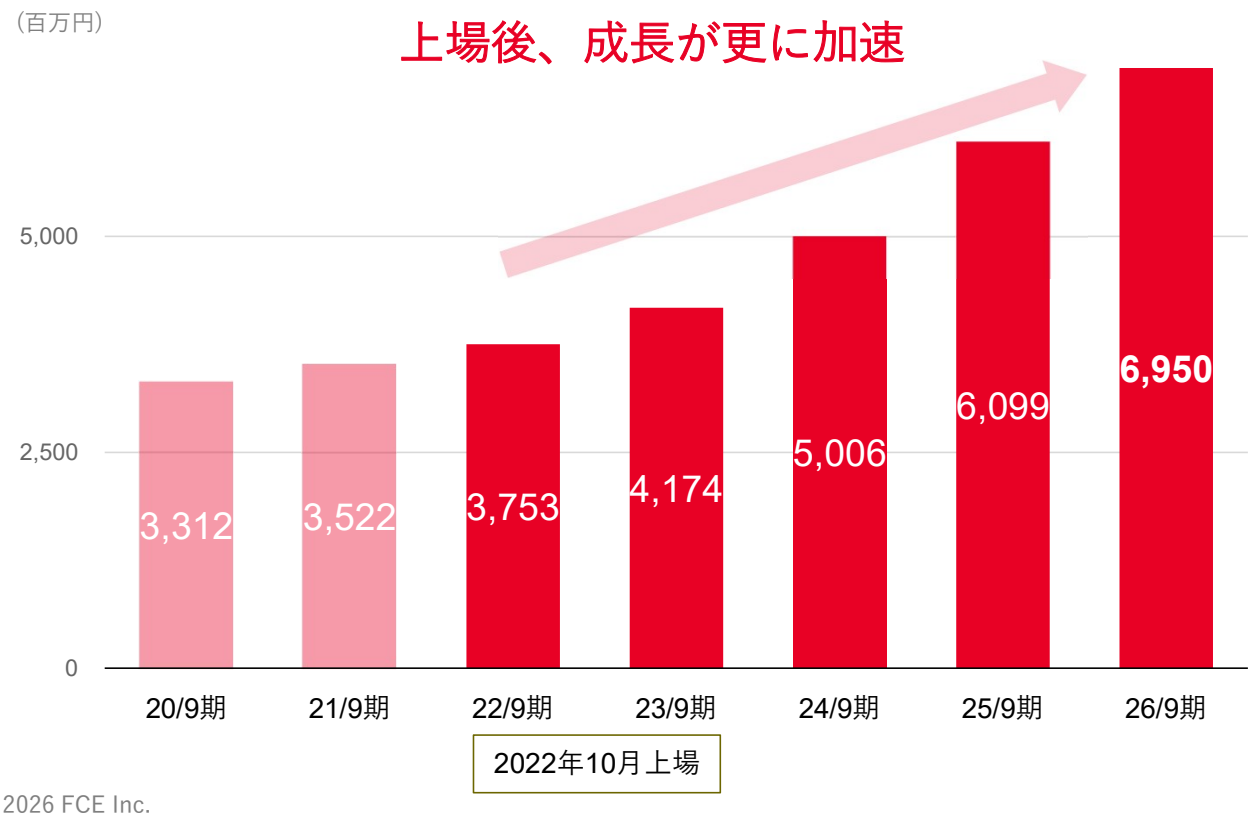
04 事業および成長戦略：教育研修事業

Appendix

2026年9月期 通期 ｜ 業績ハイライト（1/2）

2022年10月上場来、増収増益を継続しており、順調な成長を継続

売上高推移（連結）



▶売上高（26/9期）

6,950 百万円

前年同期比 +13.9%

▶営業利益（26/9期）

1,130 百万円

前年同期比 +23.9%

▶ 経常利益（26/9期）

1,160 百万円

前年同期比 +25.5%

単位：百万円（百万円未満切捨て）

© 2026 FCE Inc.

2026年9月期 通期 ｜ 決算概要

売上高(通期)：通期の売上高はDX推進事業を中心に増収となり、前年同期比で13.9%の増収

経常利益(通期)：通期の経常利益は主にSaaS型ビジネスの増収の影響により、前年同期比で25.5%の増益

通期実績

売上高増やストック型ビジネスの積み上がりによる増収増益により、ほぼ予想通りの着地
純利益は、想定税率の見込み差異もあり、見込みより若干のマイナスとなった

単位：百万円	2025年9月期		2026年9月期					
	4Q (7-9月)	通期	4Q (7-9月)	前年同期比（3か月）	通期	前年同期比（通期）	通期予想 (2026/8/10発表)	予想比（通期）
売上高	1,562	6,099	1,779	+216 (+13.9%)	6,950	+850 (+13.9%)	6,800	102.2%
営業利益	△11	912	37	+48 (ー%)	1,130	+217 (+23.9%)	1,130	100.0%
経常利益	△20	925	38	+59 (ー%)	1,160	+235 (+25.5%)	1,160	100.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	14	662	80	+66 (ー%)	879	+216 (+32.7%)	910	96.7%
EBITDA※	13	1,002	69	+55 (+413.2%)	1,241	+239 (+23.9%)	ー	ー
経常利益率	△1.3%	15.2%	2.2%	+3.5%pts	16.7%	+1.5%pts	17.1%	ー

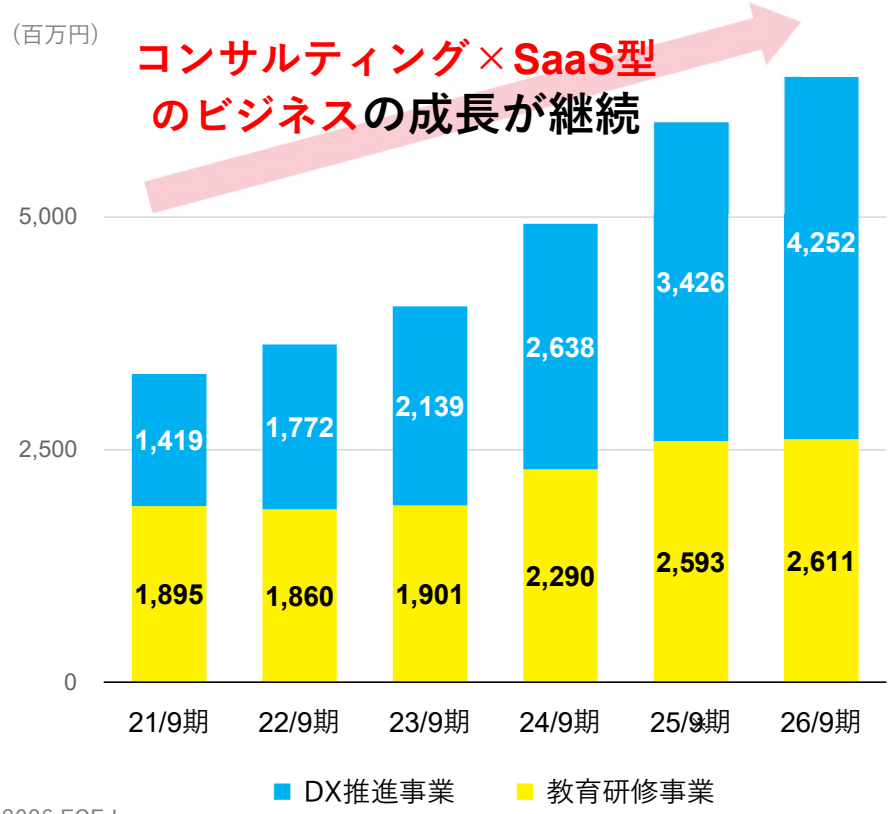
単位：百万円（百万円未満切捨て）
※ EBITDA=営業利益＋償却費（減価償却費＋のれん償却＋保証金償却＋長期前払償却）

© 2026 FCE Inc.

2026年9月期 通期 ｜ 業績ハイライト

RPAを活用したDX支援SaaS「ロボパットAI」及び社員教育のSaaS「Smart Boarding」を提供する
コンサルティングとSaaS型のハイブリッドなビジネスが順調な成長を継続

セグメント別売上高推移（連結）



DX推進事業

▶ セグメント売上高（26/9期）

4,252 百万円　前年同期比 **+24.1%** ⬆

▶ ハイライト（ロボパットAI）

- ✓若手社員の早期育成・活躍の仕組み化
- ✓AI機能搭載により利便性向上、チャーンレートは低位維持(1%台継続)
- ✓導入社数も順調に増加（2026年9月末時点で2,213社に到達）
- ✓生成AIの普及が市場拡大の追い風

教育研修事業

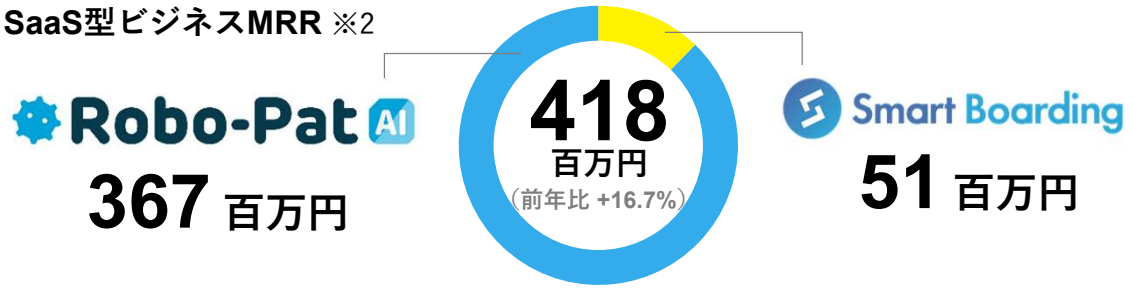
▶ セグメント売上高（26/9期）

2,611 百万円　前年同期比 **+0.7%** ⬆

▶ ハイライト（Smart Boarding）

- ✓チャーンレートは低位水準を維持
- ✓ 新しいコンテンツ・学習コースの追加やAIロープレ機能等の機能強化を予定
- ✓直販への注力により、1社当たり売上（ARPU）が向上傾向

SaaS型ビジネスMRR ※2



※1：SaaS（Software as a Service）契約が継続する限り毎月定額の収益になるサブスクリプションモデル
※2：MRR（Monthly Recurring Revenue） 2026年9月期第4四半期末時点の毎月繰り返し発生する売上金額

© 2026 FCE Inc.

2027年9月期　業績予想

・売上高は前年同期比＋10％以上の76.6億円とし、増収を見込む
（※2027年4月に承継予定のインターナショナル・スクール事業の影響は前年比で136百万円程度）

・中長期の成長投資も行いながら、引き続き、増益・利益率の向上を見込む

単位：百万円	2026年9月期	2027年9月期		2026年9月期	2027年9月期	
	実績	予想	前年同期比	実績 (IS事業※2除く)	予想 (IS事業※2除く)	前年同期比 (IS事業※2除く)
売上高	6,950	7,660	+709(+10.2%)	6,698	7,545	+846(+12.6%)
営業利益	1,130	1,370	+239(+21.2%)	1,088	1,358	+269(+24.8%)
経常利益	1,160	1,405	+244(+21.0%)	1,117	1,393	+275(+24.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	879	1,070	+190(+21.6%)	-	-	-
EBITDA※1	1,241	1,487	+246(+19.8%)	-	-	-
1株当たり当期純利益（円）	39.85	48.13	+8.28	-	-	-
経常利益率	16.7%	18.3%	+1.6%pts	16.7%	18.5%	+1.8%pts

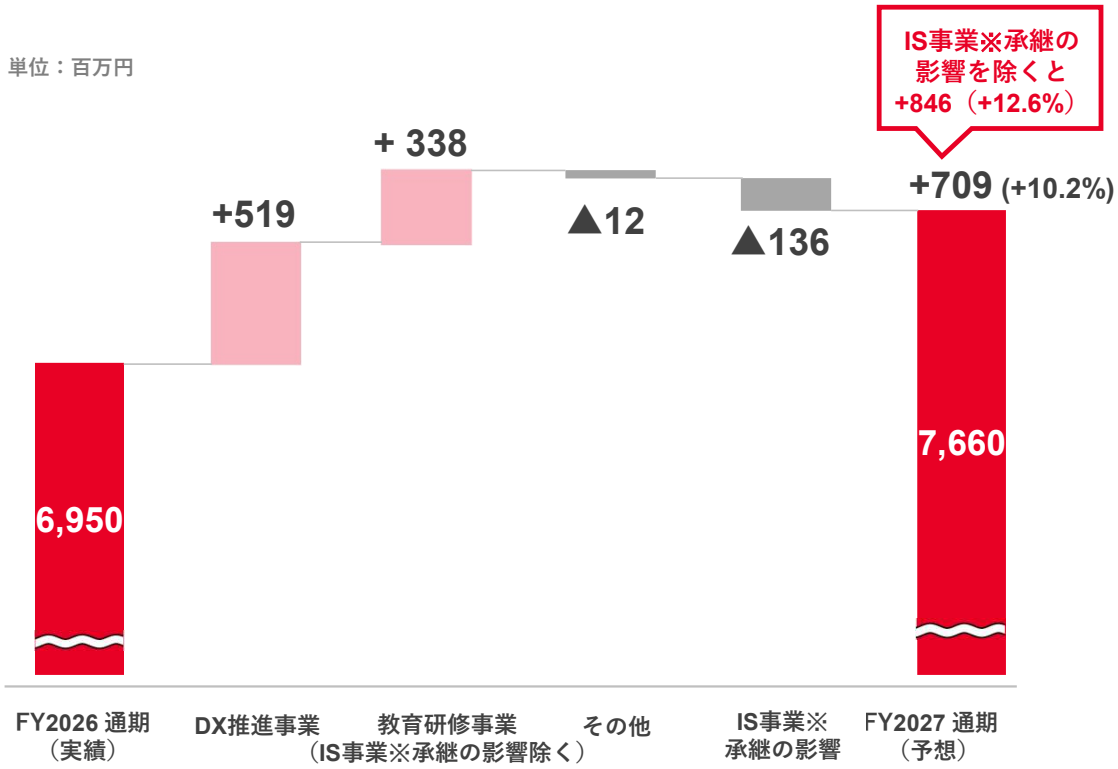
単位：百万円（百万円未満切捨て）

© 2026 FCE Inc.

※1 EBITDA=営業利益＋償却費（減価償却費＋のれん償却＋保証金償却＋長期前払償却）
※2 IS事業：インターナショナル・スクール事業。2027年4月1日に株式会社東京インターナショナルスクールグループ社に承継予定

2027年9月期 業績予想 ｜ 売上高

企業の生産性向上や業務効率化を目的としたデジタル化・AI活用の需要の高まりを背景に、売上高は709百万円増の7,660百万円を想定



※IS事業：インターナショナル・スクール事業。2027年4月1日に株式会社東京インターナショナルスクールグループ社に承継予定

数値前提

●DX推進事業：
（ロボパットAI）
生産性向上のニーズや市場の拡大にあわせて導入企業の開拓や既存導入企業の更なる利用拡大を推進。値上げによるARPU向上も想定。

（AI関連事業）
AI関連事業の立ち上げやAIコミュニティ「AIx ONE」での事業展開、業務提携等により業容拡大を想定。

●教育研修事業：
（研修事業）
「Smart Boarding AIプラス」のリリースによりARPU向上やUIの刷新による商品力強化と増収を企図。

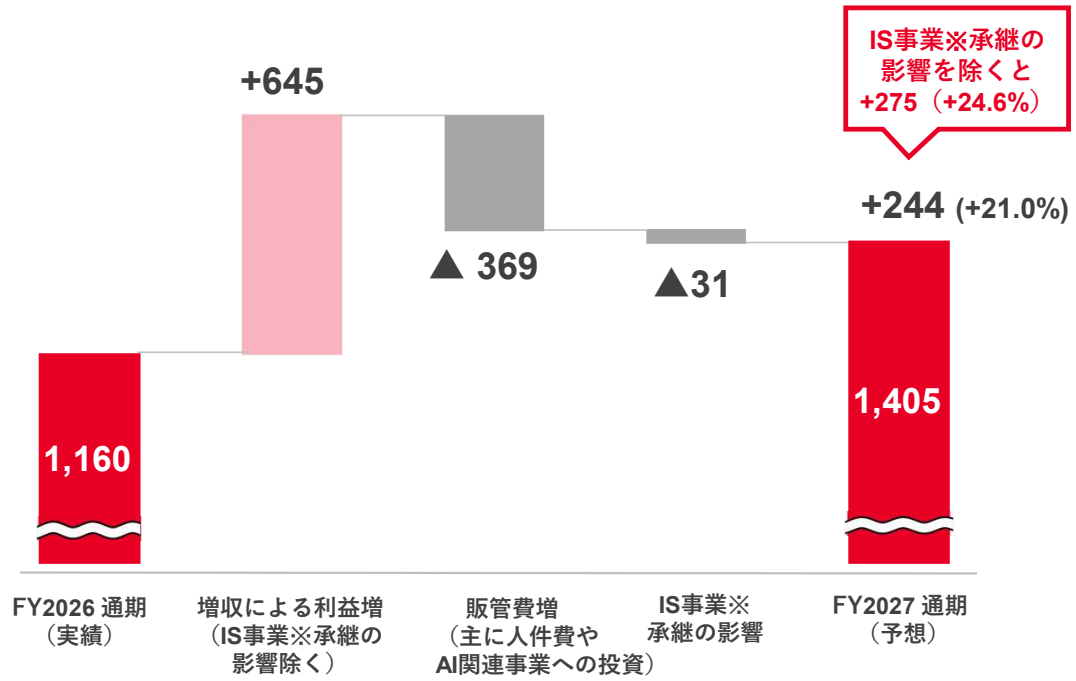
（教育事業）
7つの習慣J®や教室支援事業等の自社コンテンツ強化、業務提携による新規事業を展開。

© 2026 FCE Inc.

2027年9月期 業績予想 ｜ 経常利益

AI関連事業や中長期的な成長に向け更なる事業機会の創出を実現できるように先行投資をしながらも、経常利益は244百万円増の1,405百万円を想定

単位：百万円



数値前提

●増収による利益増：
DX推進事業（ロボパットAI事業）を中心に利益の増加を見込む。

●販管費の増加：
引き続き、積極的な人財採用・人財投資に加え、広告宣伝やAI関連事業（子会社のAIx含む）への投資を進めるため増加を見込む。

※IS事業：インターナショナル・スクール事業。2027年4月1日に株式会社東京インターナショナルスクールグループ社に承継予定

© 2026 FCE Inc.

Agenda

01 2026年9月期通期業績と2027年9月期業績予想

02 今後の事業方針

03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業

04 事業および成長戦略：教育研修事業

Appendix



ＦＣＥとは、

ＮＢＣファーム

NEW **B**USINESS **C**REATOR

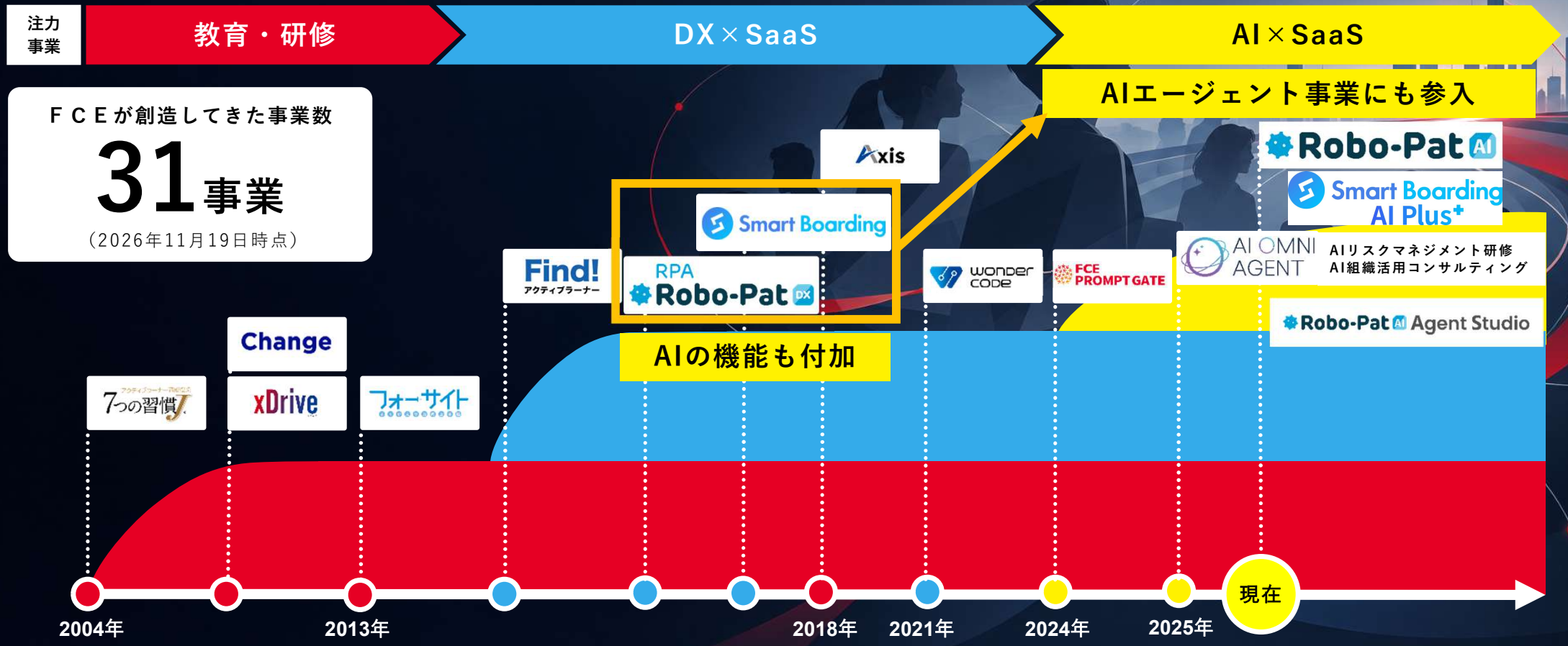
NEW BUSINESS CREATORとは、
「まだ見ぬ価値を企て、人と社会を前にすすめる人」

私たちは単に新規事業を立ち上げる人ではありません。
自らの仕事に新しい意味を見いだし、制約を超え、仲間の知恵を結集し、
お客様の可能性を引き出す人。
まだ誰も実現していない未来に挑み、
その可能性を具体的な成果へと変えていく人です。

Copyright © FCE Inc. All Rights Reserved.

NEW BUSINESS CREATORとしての歩み

ＦＣＥは、2004年に教育・研修事業に端を発し、時代の変遷に伴う事業環境の変化に適応
新規事業を連続的に立ち上げて業容を拡大



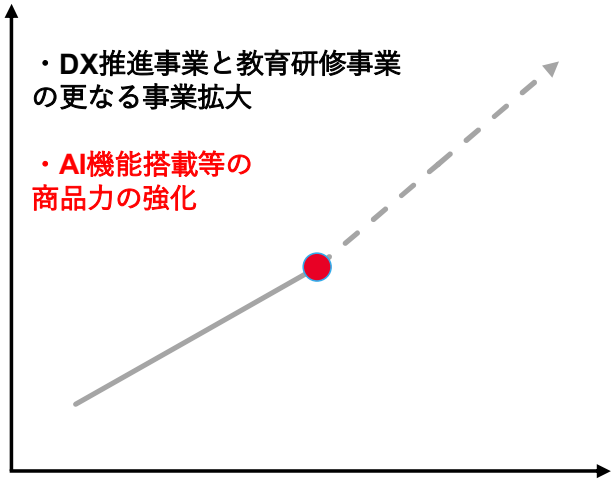
Copyright © FCE Inc. All Rights Reserved.

ＦＣＥの事業方針（概要）

既存事業

・DX推進事業と教育研修事業
の更なる事業拡大

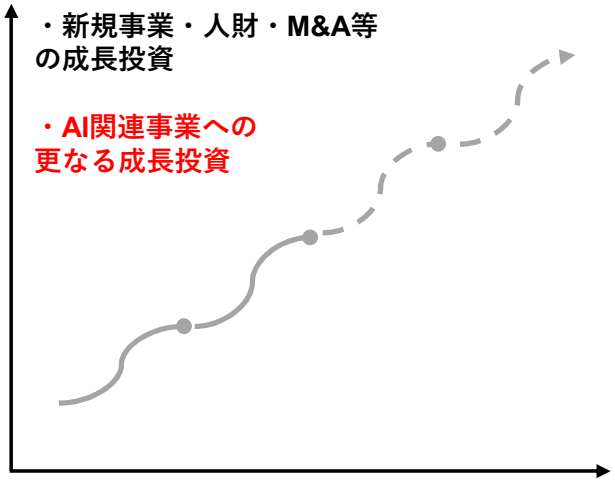
・AI機能搭載等の
商品力の強化



成長投資

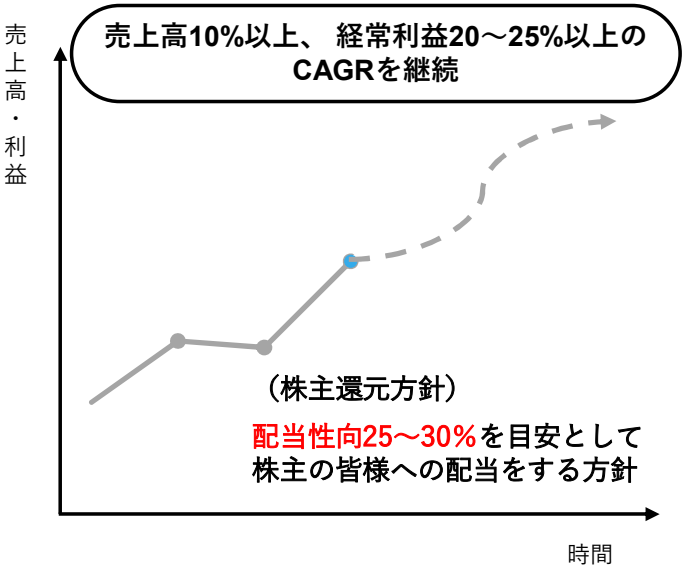
・新規事業・人財・M&A等
の成長投資

・AI関連事業への
更なる成長投資



連結業績

売上高10%以上、 経常利益20～25%以上の
CAGRを継続



（株主還元方針）

配当性向25～30%を目安として
株主の皆様への配当をする方針

© 2026 FCE Inc.

ＦＣＥの事業方針：事業（2027年9月期注力領域）

既存事業

Robo-Pat AI / Robo-Pat AI Agent Studio

商品力強化、認知度向上、販売体制強化

2026年9月期

AI機能強化、商品名を「ロボパットAI」へ名称変更

2027年9月期

新商品「ロボパット AI Agent Studio」との連携等、より簡単によりスピーディーに業務自動化の実現へ

Smart Boarding / Smart Boarding AI Plus+

AI 人財育成支援、顧客単価向上

2026年9月期

「AI学習コンテンツ」搭載、「AIロープレ機能」の開発、導入先企業のARPA(*)の向上を図る

2027年9月期

「Smart Boarding AIプラス」の提供開始、導入先企業のARPA(*)の向上を図る

成長投資（AI関連事業）

AI OMNI AGENT

事業の早期立ち上げ

2026年9月期

「AI OMNI AGENT」の販売開始
「AIリスクマネジメント研修」
「AI組織活用研修・コンサルティング」等のAI関連商品の提供開始

2027年9月期

株式会社ＦＣＥ ＡＩｘを設立（完全子会社）
積極的に投資を行い、早期の利益創出を目指す

FCE AIx ONE / Hellas

AIコミュニティの早期立ち上げ・新規事業の展開

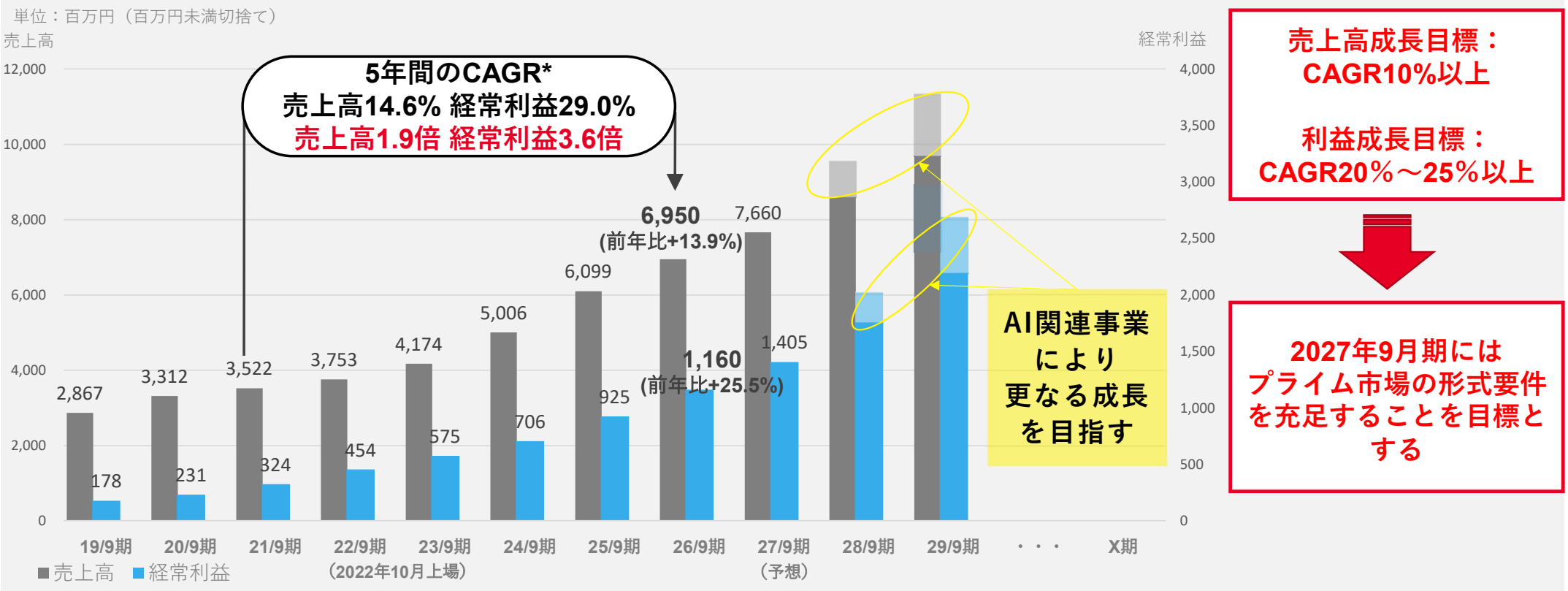
AIコミュニティ「AIx ONE」（エーアイエックス ワン）の運営基盤整備、
学生団体向けAI学習プラットフォーム「FCE AIx ONE Learning」の提供開始、AI関連事業の拡販

(*) Average Revenue Per Account（1アカウントあたりの平均売上）

© 2026 FCE Inc.

ＦＣＥの事業方針（数値）

売上高・利益ともに過去より毎期、継続的な成長を実現。今後も着実な成長を目指す。



売上高成長目標：
CAGR10%以上

利益成長目標：
CAGR20％～25％以上

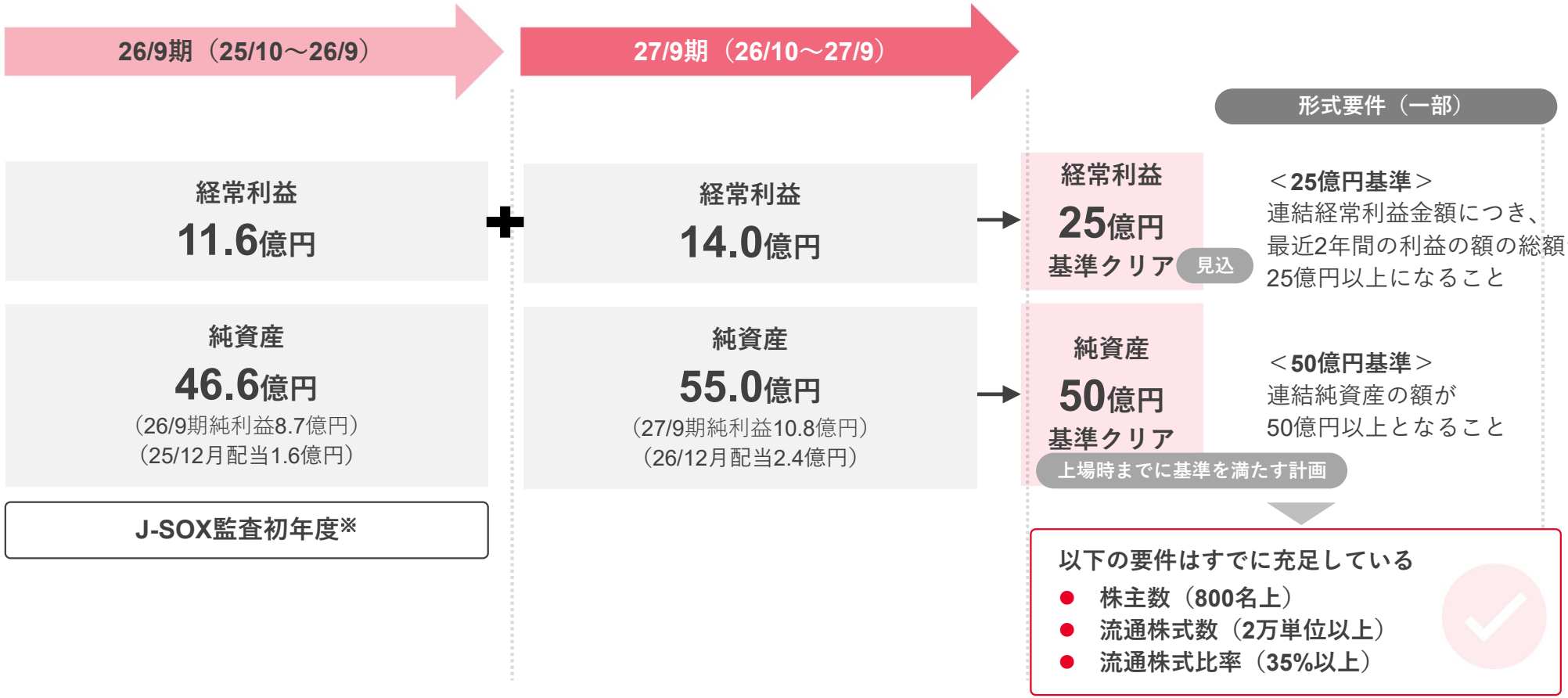
2027年9月期には
プライム市場の形式要件を充足することを目標とする

＊CAGR： Compound Annual Growth Rate（年平均成長率）

© 2026 FCE Inc.

ＦＣＥの事業方針（プライム市場に向けて）

プライム市場を視野に入れ、プライム市場の形式要件を27/9期で充足させることを目標とする。



© 2026 FCE Inc.

※公認会計士による内部統制監査の初年度

ＦＣＥの事業方針（人財採用・育成）

事業拡大に伴い、新卒・中途共に積極的に採用中（2024年9月にオフィスも増床）
多くの育成プログラムにて成長できる環境を整備。引き続き、人財能力向上を企図。

■採用

- **新卒10名採用（26年3月卒）**
- **新卒約20名採用予定（27年3月卒）**
  若手社員が活躍できる環境が整い、
  新卒中心とした採用を実施
- **中途採用**
  事業拡大に伴い各事業部門にて人財募集中

※社員の20代比率：
19%(20年9月末)→**34%**(26年9月末)



■育成

成長コンセプトは「3年で10年分の成長をせよ」
多くの育成プログラムや環境を提供

- Value講話研修
- Smart Boarding コース学習
- 生産性向上運動
- コンサルティング営業研修
- 次世代幹部育成研修　等

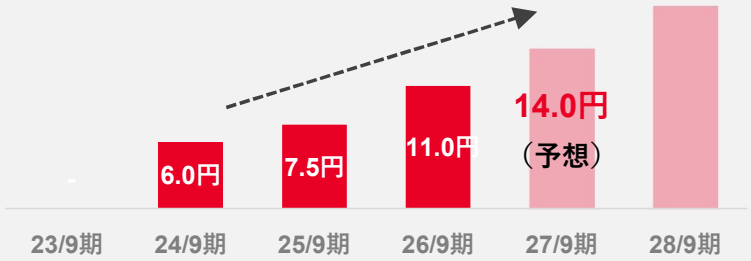


© 2026 FCE Inc.

株主還元方針

配当方針と実績

期末当期純利益の25～30%程度を目安とし、株主の皆様へ継続的な利益還元を行う方針。2027年9月期においては14.0円を予定。



株主優待制度

■対象：
9月末日の株主名簿に記載された
当社株式１単元（100 株）以上を保有する株主様

■優待内容：
1,000円分のデジタルギフト®を贈呈（2026年実績）
※ 2027年の内容については機動的に検討、決定次第開示予定



自己株式取得を決定

ＤＸ推進事業を中心に継続的な事業成長を見込ながらも、現在の株価は企業価値を十分に反映しておらず、過去の水準と比べても割安と認識。株価認識や財務状況等を総合的に勘案し、自己株式を取得を決定。

■取得する株式の種類：当社普通株式

■取得し得る株式の総数：115万3,800株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合約5.2%）

■株式の取得価格の総額：６億円（上限）

■取得期間：2026年12月１日～ 2027年11月30日

■取得方法：東京証券取引所における市場買付を予定

© 2026 FCE Inc.

Agenda

01 2026年9月期通期業績と2027年9月期業績予想

02 今後の事業方針

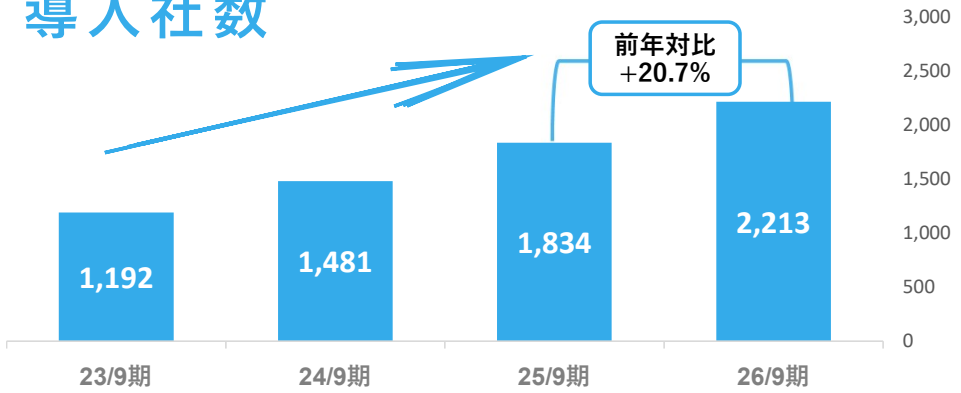
03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業

04 事業および成長戦略：教育研修事業

Appendix

DX推進事業のトピックス（ロボパットAI）

導入社数

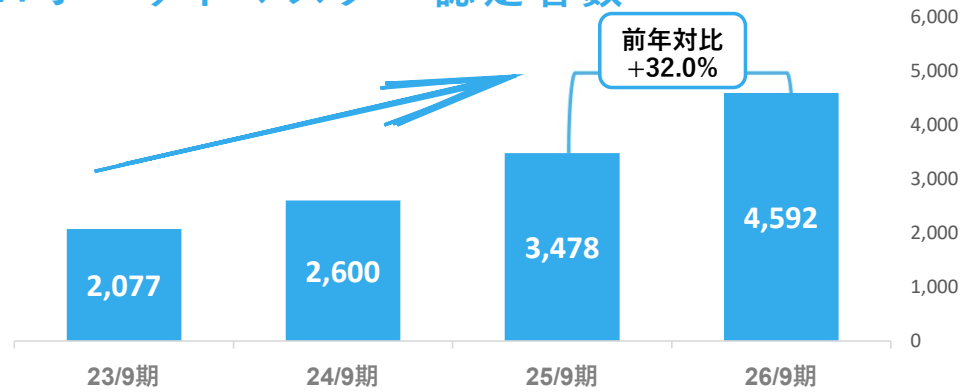


商品名変更

AI機能の拡充のため、2026年3月2日より
「RPAロボパットDX」から名称変更

Robo-Pat AI

ロボパットマスター認定者数



新商品リリース

Robo-Pat AI Agent Studio

© 2026 FCE Inc.

DX推進事業 ｜ 「ロボパットAI」

Robo-Pat AI　AI機能搭載のRPA(Robotic Process Automation)

ロボパットAIの収益構造

売上	導入社数	×	平均単価（月額）
原価	開発協力先へのライセンス料	＋	代理店への販売フィー

※ 平均単価(月額)＝フル機能版と実行専用版の加重平均

ライセンスの種類

フル機能版（14万円／月）
ロボットの動作シナリオを作成登録し、実際に作業可能

実行専用版（5万円／月）
フル機能版ライセンスのシナリオは別のPCで実行可能です。

＋

無料

導入サポート
コンサルティング

ロボパットAIの特長

商品力

- 現場の業務担当者が自分でロボットを作成できる
- AI機能追加で利便性向上と自動化領域拡大

×

コンサルティング力

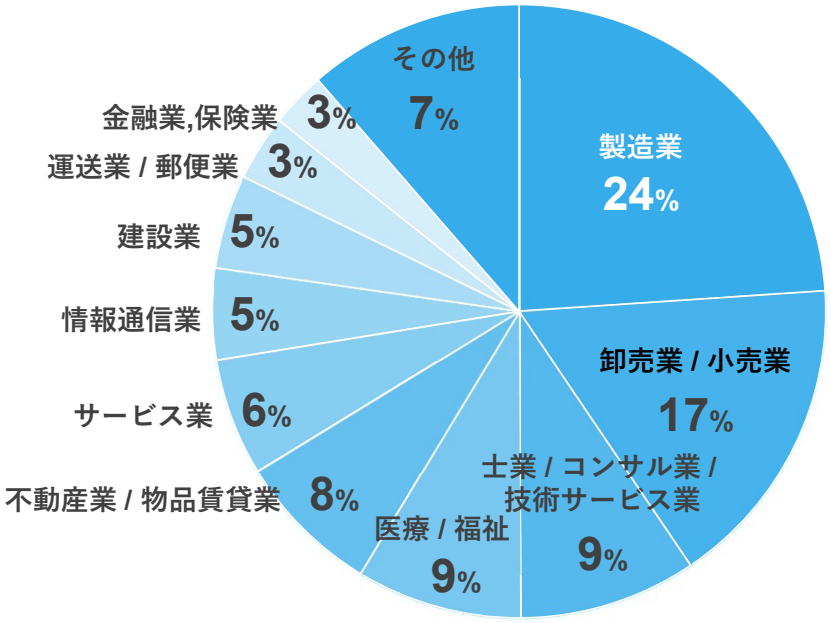
- DXを推進する人を育てる
  導入から活用・定着まで　ワンストップでサポート
- 人が育つ組織を作る
  豊富な導入・定着実績で伴走型支援

© 2026 FCE Inc.

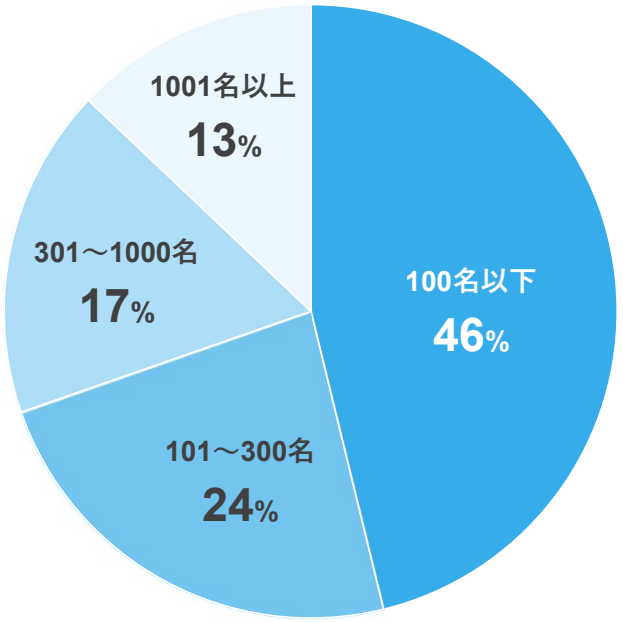
「ロボパットAI」導入状況

ITリテラシー・業種・規模を問わず、様々な企業が利用中

ロボパットAI導入企業業種別割合



ロボパットAI導入企業規模別割合



業種、業界を問わず多岐に導入

企業規模を問わず導入可能

（従業員300人未満で7割を占める）

© 2026 FCE Inc.

「ロボパットAI」のAI機能強化

～より簡単に、よりスピーディーに業務自動化を実現～

AI文字入力アシスト（AI OCR機能）

紙の読み取りからシステムへの登録まで、
AI OCR×RPAでまるごと自動化する機能

✓手書き文字を正確にデータ化
✓異なるフォーマットを自動判別

料金：従量課金制。帳票の読み取りは何項目でも1枚10円

AIアドバイザー

業務を自動化するスクリプト作成の AIサポート機能
✓作成ヒントの提示
✓スクリプトの要約
✓エラーの解説

ヒントをリアルタイム提示するため初心者でもスムーズにロボット作成が可能となり、より手軽に現場のDX推進が可能

＜利用者の声＞

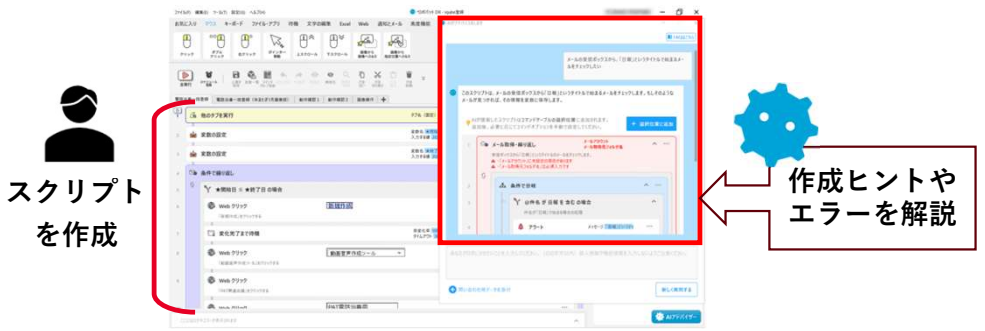
総務部門

「従来のOCRでは読み取りが困難で手入力していたタイムカード処理を完全に自動化できた」

経理部門

「日英混在の多様なインボイスを自動で日本語に統一してデータ化でき、精度とスピードが飛躍的に向上できた」

＜画面イメージ＞



© 2026 FCE Inc.

「ロボパットAI」事業拡大戦略の進捗

パートナー制度の拡大や同業種でのクライアント紹介など、新たな事業拡大機会を創出

地方銀行との提携事例

各支店よりDX推進ニーズのある企業を紹介

Robo-Pat AI × Kagoshima Bank 鹿児島銀行

支店 支店 支店

支店の取引先企業

DX推進・生産性向上の提案



提携先

※ロゴ掲載企業は一部です（順不同）

金融機関	プラットフォーム	企業	
鹿児島銀行（地方銀行）	Eストアー ショップサーブ（ECサイト構築プラットフォーム）	リンクアンドモチベーション（資本業務提携）	BizRobo! オープン（業務提携）

様々なルートから「ロボパットAI」の情報提供を展開中

© 2026 FCE Inc.

鹿児島銀行との業務提携　リリース内容：https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/75a626a0/7ea6/4b65/bb8f/1dcc522cd4a3/140120251118505097.pdf

新商品「ロボパット AI Agent Studio」の提供開始

PKSHA Technology社（東証プライム：3993）と共同開発の新シリーズ

Robo-Pat AI Agent Studio

AIとRPAの役割分担で業務自動化できるAIエージェント

ロボパット AI Agent Studioの料金体系

利用料金（10万円～／月）
購入金額を上限に、各種機能の利用が可能

＋

ユーザーアカウント料金
月額800円／1アカウント

＋

無料

導入サポート
コンサルティング

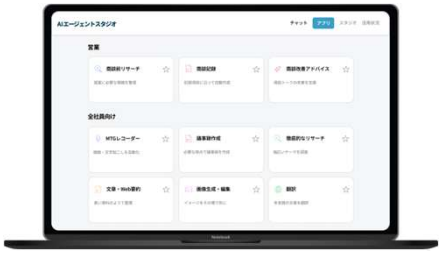
ロボパット AI Agent Studioの特長

ロボパットAIとの連携で情報管理も安心

AIとRPAの役割分担でコスト最適化

PKSHA Technology社のコア技術を採用

＜画面イメージ＞



顧客が情報保護とコストを意識しながら業務自動化を進められる環境を提供

リリース内容：https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/bb5751d7/68d2/447c/9bf8/cc42b330a229/140120261116580839.pdf

製品紹介ページ：https://fce-pat.co.jp/agent-studio/

© 2026 FCE Inc.

DX推進事業のトピックス（AI関連事業）

AI関連事業

AI OMNI AGENT

「AIリスクマネジメント研修」の提供

「AI組織活用研修・コンサルティング」の提供

新会社設立

AIに特化した社内ベンチャー：

株式会社ＦＣＥ ＡＩx（エーアイエックス）

2026年10月1日に設立

業務提携

中国銀行とビジネスマッチング契約

AIオーケストレーションツール「Hellas」と提携、提供開始

AIコミュニティ

AIを研究する学生と企業とのコミュニティ：

「AIx ONE」（エーアイエックス ワン）を発足

© 2026 FCE Inc.

AI関連事業のトピックス

中国銀行とビジネスマッチング契約



地域企業の成長を支える中国銀行との提携により、瀬戸内経済圏を中心とした地域においてAI活用推進と持続的な成長を「教育×AI」の力で本格的に支援

地域企業が直面する人手不足や生産性向上といった課題の解決を後押しし、持続可能な地域経済の発展へ

リリース内容：
https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/648f39ee/f8b5/47b8/a912/9e4ff8d09d18/140120261005545676.pdf

AIコミュニティ「AIx ONE」を発足



学生と企業がともにAIを学び、実践し、つながる場を提供

- **AIを使いこなす学生と、AI活用を進めたい企業をつなぐ**
- **企業に、人材・知識・技術へのアクセスを提供**
- **若手AI人材に、AIの社会実装を経験する機会を提供**

学生団体向けAI学習プラットフォーム
「FCE AIx ONE Learning」を提供
（Smart Boardingを学生団体向けにカスタマイズしたサービス）

FCE AIx ONEサイト： https://fce-aixone.com/

© 2026 FCE Inc.

「AI OMNI AGENT」（エーアイ オムニ エージェント）

複数のLLM※を統合し、業務を自動化する“AIエージェント”が現場で動くことで、企業の生産性を進化させるAIプラットフォームサービス

AI OMNI AGENTの収益構造

売上					原価	
	初期費用	導入社数	×	平均単価（月額） 平均単価(月額)＝各プランの加重平均	−	開発協力先へのライセンス料

AI OMNI AGENTの特長

コンサルティング会社が提供する「カンタン」AIエージェント

簡単につくれる

自然言語で誰でも簡単にエージェントを作成可能

高精度

業界最高水準の精度で日本語を正確に読取可能

セキュリティ

AI側に記録を残さない安全なセキュリティ

成果につなげる伴走支援

社員教育や組織風土づくりまで幅広く支援が可能

© 2026 FCE Inc.

※：LLM：Large Language Models、大規模言語モデル　ChatGPT、Claude、Geminiなど

「AI OMNI AGENT」事業拡大戦略の進捗

マーケティング

- 定期セミナー開催
- 展示会出展



初回訪問・提案

- 生産性向上ニーズの把握
- 業種別に特化した「活用事例100選」を提供



AIエージェント以外の
生産性向上の手段として
「ロボパットAI」の提案

有償トライアル

コンサルタントが付き、
実際に業務で使える
エージェントを一緒に作成

AIエージェント以外の生産性向上の手段
として「ロボパットAI」の提案

本契約

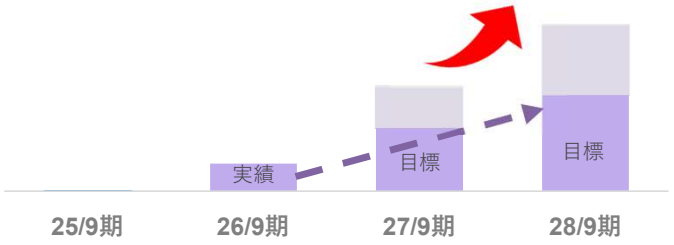
コンサルティングサポート
（活用・定着支援）

AIエージェント以外の生産性向上の手段
として「ロボパットAI」の提案

Robo-Pat AI
RPA×AI
定型業務の自動化

AI事業の売上高

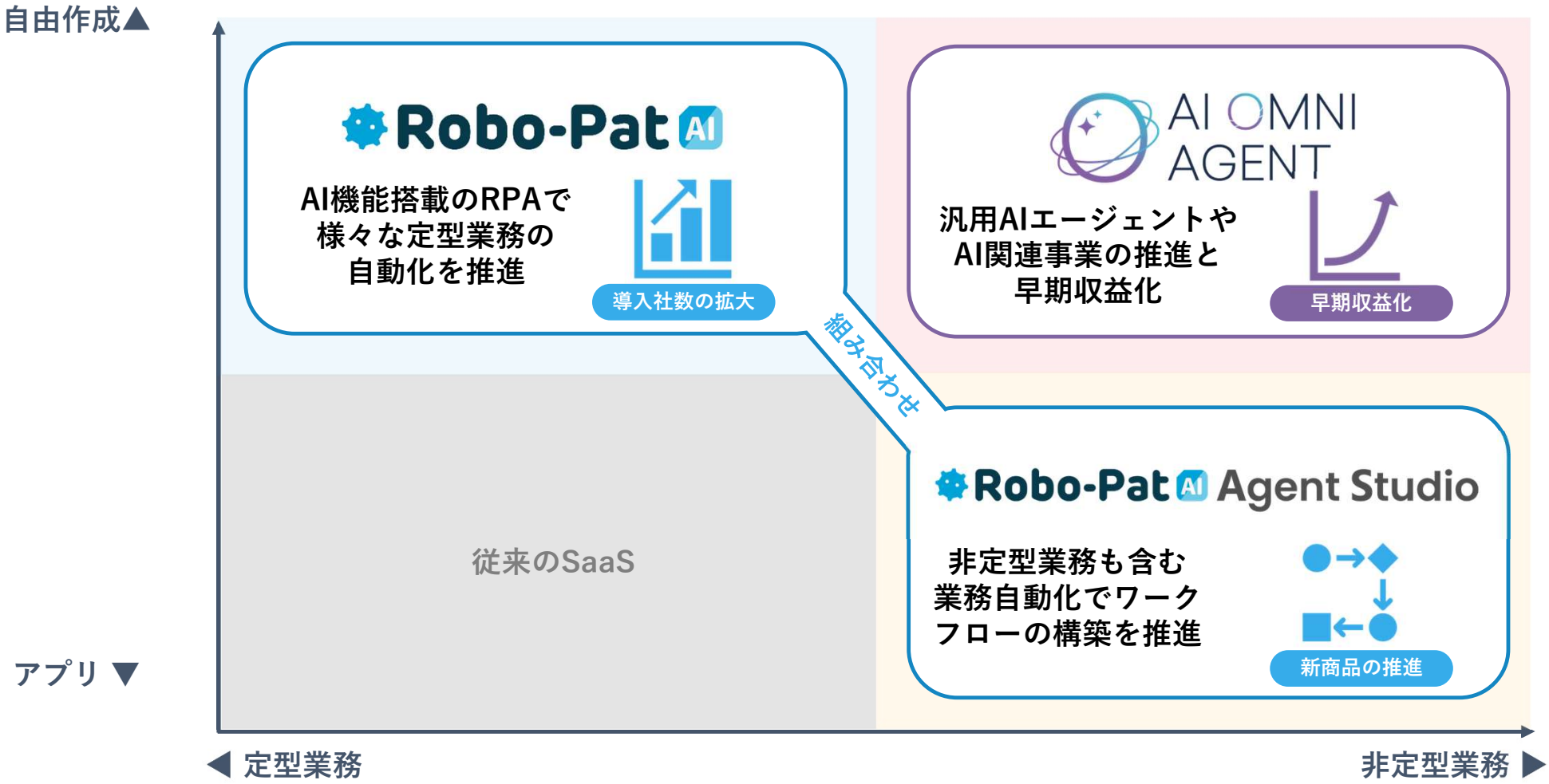
（子会社の株式会社ＦＣＥ　ＡＩｘ含む）



AI関連商品の提供・業務提携・AIコミュニティ拡大等の積極的な事業展開により売上拡大ならびに収益基盤の確立を目指す

© 2026 FCE Inc.

DX推進事業 ｜ 3製品の今後の戦略



© 2026 FCE Inc.

Agenda

01 2026年9月期通期業績と2027年9月期業績予想

02 今後の事業方針

03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業

04 事業および成長戦略：教育研修事業

Appendix

教育研修事業 ｜ トピックス

アディッシュ株式会社（証券コード:7093）と資本業務提携

■名称：アディッシュ株式会社（証券コード：7093）

■事業内容：カスタマーサクセス支援、ソーシャルリスク対策、学校向けネットトラブル防止サービス等

■業務提携の内容
・両社の未重複顧客への相互紹介・提案を行い、販路の拡大を図る
・アディッシュ社の自治体との取引実績・ネットワークを活用し、自治体を通じた教育現場への当社商材の提案機会を創出
・研修領域における相互の強みを生かした事業成長支援

■資本提携について
当社は市場外の相対取引により、2026年9月29日を約定日とし、アディッシュ社の普通株式98,000株、総額52,724千円分を取得。

適時開示内容：
https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/8487a8e6/c587/4cd8/9b01/00c36809c7e1/140120260929541838.pdf

Smart Boarding「AIロープレ機能」を搭載

AIロープレ機能で実現できる 3 つの価値


何度でも
実践練習が可能


シームレスな
連携


客観的な即時
フィードバック

リリース内容：
https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/b2aa1bc0/529b/4958/abcf/ef216f3f1b60/140120261109568476.pdf

「FCE AI Coaching」をリリース

株式会社コーチ・エィ（証券コード：9339）社の「CoachAmit」のコアエンジンを活用した自社ブランドの新サービス「FCE AI Coaching（エフシーイー エーアイ コーチング／略称：FAI」の提供を新たに開始

リリース内容：
https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/be54e3e4/f46d/472f/a951/70b3d5cdaf92/140120261109568434.pdf

リーディングマーク社と業務提携

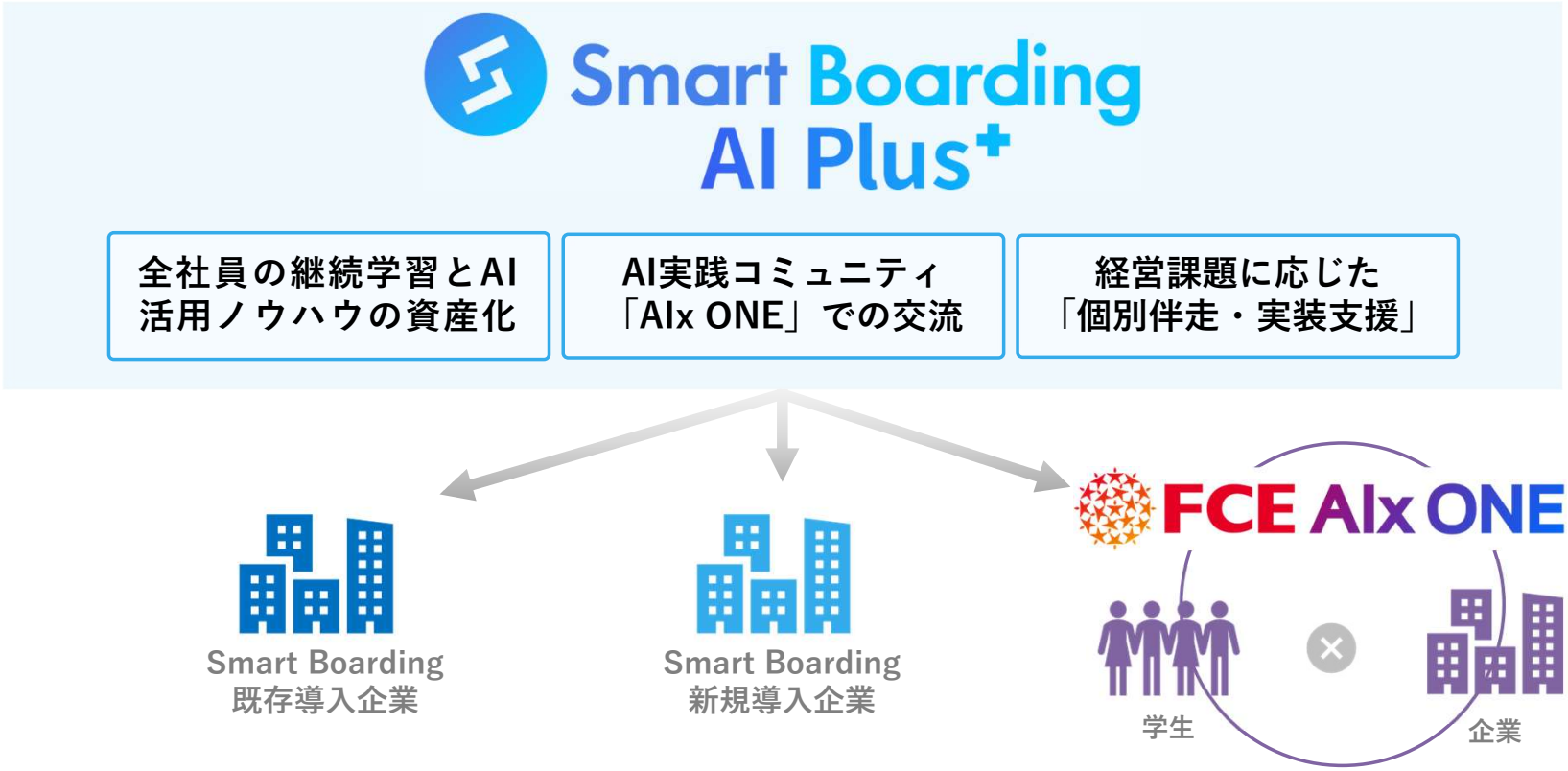
HRTechプラットフォーム「ミキワメAI」を展開する株式会社リーディングマーク社と、業務提携契約並びに販売パートナー契約を締結。人財育成と適性検査・ウェルビーイングのシナジーにより企業の人的資本経営を支援

リリース内容：
https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/06b28bc5/7270/4370/a8c3/6d312716e6dc/140120261029559027.pdf

© 2026 FCE Inc.

「Smart Boarding AIプラス」の提供開始

人財育成プラットフォーム「Smart Boarding」にAI活用コンテンツを約150個拡充
経営層から現場社員まで、組織全体でのAI活用を提供



リリース内容： https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/d338bb4a/28c8/4a48/b993/31f09927d4c9/140120261110570365.pdf

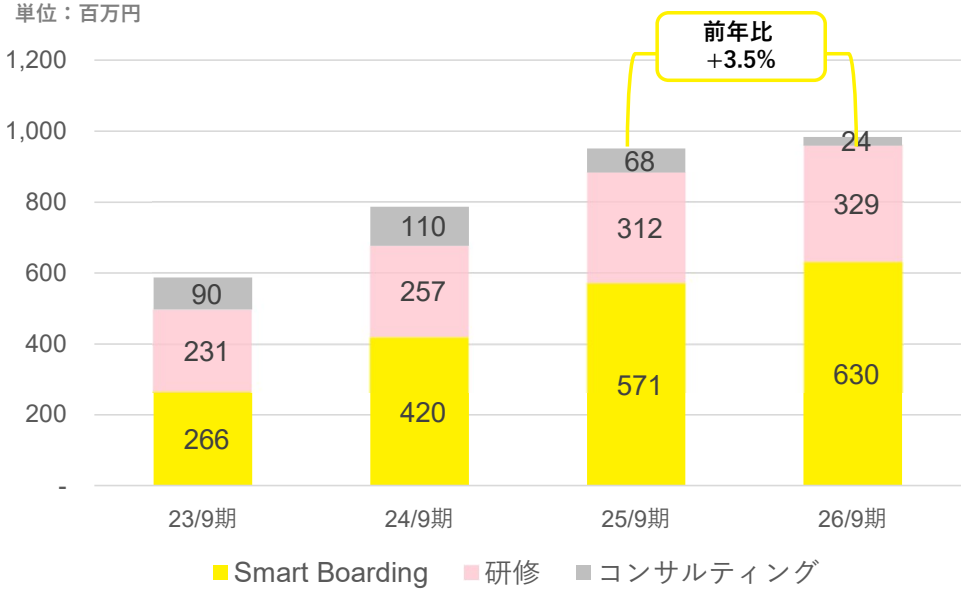
© 2026 FCE Inc.

研修事業の業績と今後の方針

- **Smart Boarding事業は「Smart Boarding AIプラス」の展開や研修事業との相乗効果を企図し、 1社あたりのARPA(*)の向上を図る方針**
- **経営課題の解決に向けた新研修コンテンツの提供にも注力**

研修事業の売上高の推移

単位：百万円

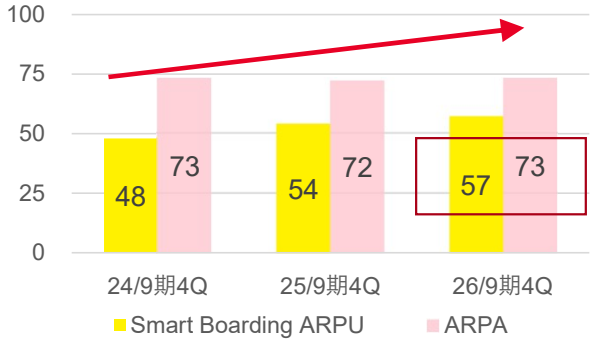


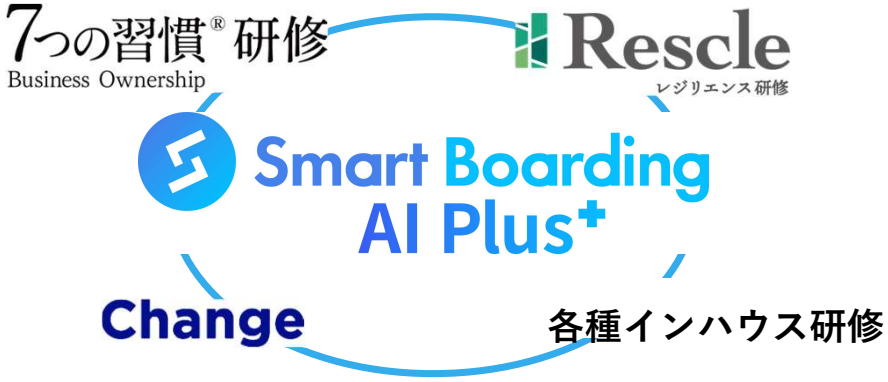
コンサルティングが減少傾向にある一方で、研修およびSmart Boardingが伸長。
これは、戦略的に属人性を排したストック型ビジネスへのシフトが進展していることを意味する。

▶ARPAの向上

Smart Boarding導入顧客企業へ人財育成や組織作りの研修を提案し、1社あたりのARPAの向上を目指す。

単位：千円　※12カ月移動平均





(*) Average Revenue Per Account（1アカウントあたりの平均売上）

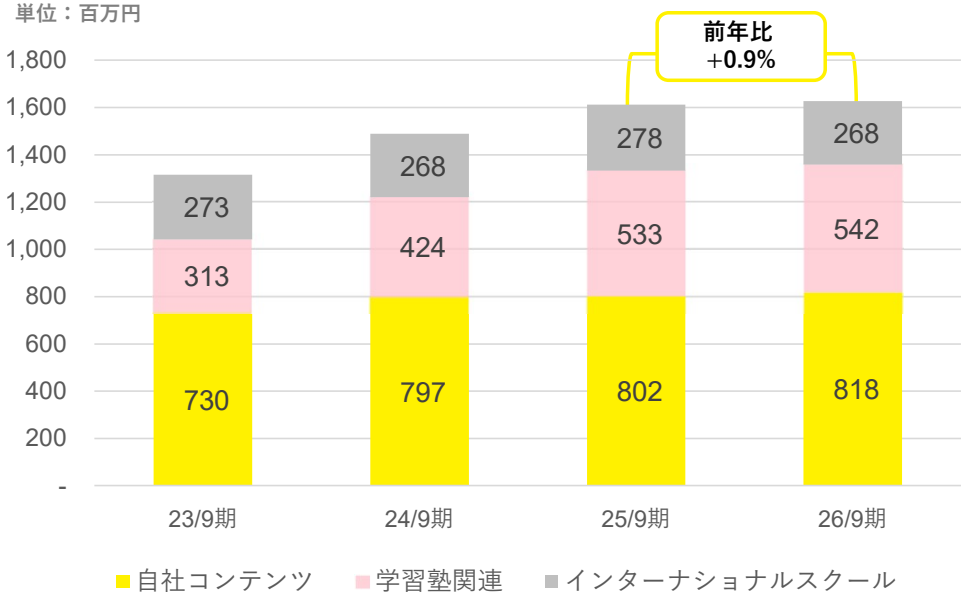
© 2026 FCE Inc.

教育事業の業績と今後の方針

- 7つの習慣Ｊ®事業やフォーサイト手帳等の自社コンテンツの拡大による増収を目指す
- 部活動マネジメントアセスメント「BUKATSU」の展開等、新規事業にて収益の創出を図る

教育事業の売上高の推移

単位：百万円

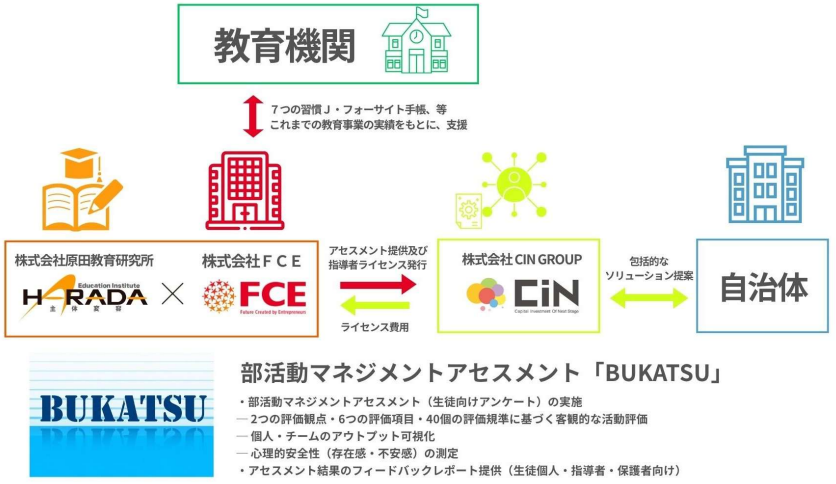


コスモトピア社のグループインにより2024年9月期以降、学習塾関連の売上高が成長
自社コンテンツは7つの習慣J®コンテンツやフォーサイト手帳のラインナップ拡大等により上昇傾向（前年比+2.0%）

▶自社コンテンツの拡販

アクティブラーナー育成授業 7つの習慣J®　アクティブラーナーの資質を引き出す フォーサイト ふりかえり力向上手帳　Selfee 自立学習　等

▶新規事業による収益向上



© 2026 FCE Inc.

Agenda

01 2026年9月期通期業績と2027年9月期業績予想

02 今後の事業方針

03 事業および成長戦略：DX推進事業、AI関連事業

04 事業および成長戦略：教育研修事業

Appendix

バランスシートの概況

単位：百万円	2025年9月末	2026年9月末	増減 (前年度末25/9比)
現金及び預金	3,175	3,872	+697
その他流動資産	761	858	+96
流動資産合計	3,936	4,730	+794
固定資産合計	1,790	1,908	+117
資産合計	5,727	6,638	+911
負債合計	1,928	1,978	+50
株主資本	3,896	4,622	+725
その他純資産項目	△97	37	+135
純資産合計	3,799	4,660	+861
負債純資産合計	5,727	6,638	+911
自己資本比率	66.3%	70.2%	+3.9%pts

利益により、現金及び預金は+697百万円

売掛金+50百万円
契約増加による増加

投資有価証券 +151百万円

契約負債 +50百万円

純利益+714百万円
その他有価証券評価差額金+135百万円など

© 2026 FCE Inc.

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て） ※2026年9月末時点

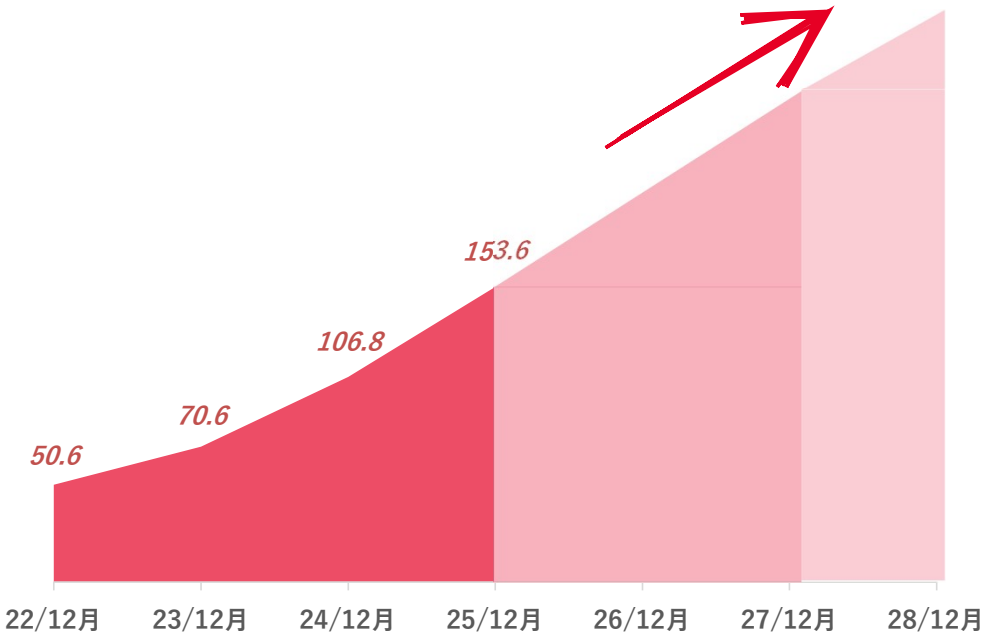
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について：今後の方針

ROE改善・資本コスト低減・期待成長率上昇で時価総額上昇を狙う。

時価総額推移と今後の目標

右記3つの観点に基づき時価総額上昇を図り、
27/12月を目途にプライム市場形式要件の充足を目指す。

（単位：億円）



※上記数値は当社試算値であり、前提条件（成長率・割引率等）の変動でレンジは変動し得る。

目標達成に向けた方針



売上高10%以上、経常利益20~25%以上の成長を毎期実現。
→　利益率を向上し、ROE上昇

- 事業・業績の予見可能性を高めるIR開示
- 株式の流動性・出来高の継続的改善

→　株主帰属のリスク減少し、資本コスト低減

- DX推進事業の継続的な成長
- AI関連や新規の事業の立ち上げ

→　成長分野投資で、市場からの期待成長率上昇

$$PBR = ROE \times PER \approx \frac{ROE}{Ke - g}$$

Ke：株主資本コスト　g：期待成長率

© 2026 FCE Inc.

cf.) 2026.2.12 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（更新）

「ロボパットAI」の外部評価





『最強ITツール』過去３年連続　５位以内

レビューサイト「ITreview」

ITreview Best Software in Japan 2024 、ITreview Best Software in Japan 2023、

ITreview Best Software in Japan 2022 より

ユーザーレビューより最も支持された製品を表彰する

「 ITreview The Best Software in Japan 2026 」にて

RPAツール部門　第1位

レビューサイト「ITreview」

https://www.itreview.jp/best-software-categories/2026/system-operation

© 2026 FCE Inc.
cf.) 2022.11.24 2022年9月期 通期決算説明資料（2026.06.27 湘南投資勉強会会社説明資料　更新）

IR information



本説明資料やその他IRに関するご意見やご質問は、
メール・IRお問い合わせフォーム・IR公式X(Twitter)より
お問い合わせください。

ir@fce-hd.co.jp



コーポレートサイトでは、決算説明資料・ Q&Aの採録他、
アナリストレポート等もご覧いただけます。

https://fce-hd.co.jp/ir/



公式のX(Twitter)では適宜情報発信をしております。

https://x.com/fce_ir

© 2026 FCE Inc.

本資料の取り扱いについて

本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。
これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社及び当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

© 2026 FCE Inc.